

事務事業名		高齢者緊急通報装置貸与事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					担当組織	担当部	健康医療部	担当課	いきいき高齢課
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり					担当係	高齢福祉係	担当課長名	片柳利幸	
	施策	1 豊かで健やかな長寿社会の実現					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 自立支援サービスの推進					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	4848	一般	3	1	3	高齢者緊急通報装置貸与事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成2年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市高齢者緊急通報装置貸与事業運営実施要綱					
	実施方法		一部委託		事業分類		融資・貸与事業				
	リーディングプロジェクト		該当		市長マニフェスト		2-9				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
一人暮らし世帯及び高齢者世帯に緊急通報装置を貸与し、急病や災害等の緊急時に適切に対応し、高齢者の生活の不安を解消する。緊急ボタンで消防本部に通報され、相談ボタンにより市民病院の地域包括支援センターにおいて相談業務に対応する。	在宅の65歳以上のひとり暮らし又は高齢者世帯で介護認定において要支援以上の方、もしくは救急搬送を要する疾病がある方に対し緊急通報装置を貸与し、急病や災害等の緊急時に適切に対応し、高齢者の生活の不安解消を図った。						
	活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	当年度貸与者数	人	31	32	35		
	総貸与者数	人	350	341	360		
	緊急ボタンによる出勤回数	回	26	28	30		

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

65歳以上のひとり暮らし高齢者又は高齢者世帯で疾病等のため、日常生活に不安があり、緊急時の対応を必要とする方。	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	65歳以上高齢者数	人	31,140	32,923	34,706		

目的 ③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

緊急の場合に速やかに消防への連絡が取れることで、安心した生活を送ることができる。	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	要介護高齢者数	人	5,805	5,978	6,281		

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

自立した在宅生活をしてもらう。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	在宅福祉サービス利用者数	人	1,526	6,934	7,000		

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円	86							
	一般財源	千円	2,816	3,173	9,811					
	事業費計(A)	千円	2,902	3,173	9,811	0	0			
投入量	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			消耗品費	0	消耗品費	0	消耗品費	26		
			通信運搬費	134	通信運搬費	139	通信運搬費	144		
			保守委託料	1,331	保守委託料	831	保守委託料	1,584		
			備品購入費	1,437	備品購入費	2,203	備品購入費	8,057		
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1					
	のべ業務時間	時間	799	200	200					
	人件費計(B)	千円	3,109	788	788	0	0			
	トータルコスト(A)+(B)	千円	6,011	3,961	10,599	0	0			

事務事業名	高齢者緊急通報装置貸与事業	担当部	健康医療部	担当課	いきいき高齢課	担当係	高齢福祉係
-------	---------------	-----	-------	-----	---------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成2年3月、高齢者の緊急時の連絡体制を整えるため開始された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	現在安心・安全への対応についての関心が高まっているので問い合わせが増加している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	センサー機能をもった機種への変更についての要望がある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている		理由・改善案	生活に不安のある方に緊急通報装置を貸与することは、緊急の場合の連絡体制を図るために必要なものであり、その結果在宅で安心した自立生活が送れることになるため意図することは結果に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない		理由・改善案	日常生活に不安がある高齢者に対し、緊急通報装置貸与事業実施要綱に基づき緊急通報装置を貸与することは緊急時の連絡体制整備を図るため、市として取り組む事業である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である		理由・改善案	対象者は65歳以上の高齢者のうち、要支援1以上の介護認定を受けた方及び救急車を呼ぶことが多いと予想される心臓・脳・呼吸器・ガンの病気を持つ方であり、見守り・安否確認にもつながる事業であり、対象・意図は妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない		理由・改善案	本装置は必要とする方に行き渡っており成果も充分に出ている。平成22年度から、本事業利用者は乳酸飲料愛のひと声事業を利用できなくなったため、利用者は減少したが、高齢者、民生委員、関係機関等に対し十分に周知が図られており、成果向上の余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない		理由・改善案	類似事務事業名
	*類似事務事業があれば、名称を記入				
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない		理由・改善案	事業費の主なものは、緊急通報装置を設置及び機器の保守管理のための業者に対する費用であり、現状では事業費の削減余地はない。また、人件費については、必要最小限の人数で対応しており、削減余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である		理由・改善案	利用者が、緊急ボタン及び相談ボタンを押した際の電話回線使用料は個人負担であり、受益者負担は適正である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)				
緊急通報装置がないと、高齢者が緊急時にボタン一つで助けを求められなくなってしまう。また、本事業利用者は、乳酸飲料愛のひと声事業が利用できなくなったことにより高齢者の見守り、安否確認の機会が減ったこともあり、休止・廃止はできない。					

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			